

ぶろしよつぷつうしん

ピンを知ろう

ピンはなにできていてるかご存知ですか？

各メーカーから数種類発売されていますがメーカーによって素材や大きさや重さが違うと思う方がいるかもしれませんそれは残念ながらハズレです。

素材は楓(カエデ)の一枚板か合板です。これはルールブックで規定されていて、合板の場合は板目の方向まで決まっています。楓以外を使用する場合には別途登録などが必要

です。これは実際にピンを割った画像です。これは合板ですが、規定どおり縦にはり合わせているのがわかると思います。



ではちよつと話を交えますが、ピンの重さをズバリと言えらる方いますか？

こちらにも決まりがあつて3ポンド6オンス(1530グラム)から3ポンド10オンス(1644グラム)と決まっています。さらにセットされる10本の重いピンと軽いピンの差についても規定があります。ピンが軽いか重いなどの表現をすることがありますが、あくまでこの範囲の中でのことになります。

ではなぜちよつと当たつただけではなかなか倒れないのはなぜでしょうか？

それには大きさと重心が大きき要素となります。ピンの重心はピンの底部から、約15センチ

チのところがあり、太さについても非常に細かく規定されています。

どうしてこの数値が規格となつたかはわかりませんが、この規定がボウリングを面白くしているのではないのでしょうか。ピンの形が普通の円柱みたいなものであつたら、もっと倒れにくいのか倒れやすいのかはわかりませんがボウリングがつまらないものになつていたかもしれませんね。

ボールについてはたくさん調べると思いますが、ピンについてもちよつと調べてみてください。また新しい発見ができるかもしれませんよ。

新商品情報

一つ目はブランドズウィック「ニルバーナ」です。発表会を大々的に実施するほど、メーカーイチオシのボールです。ヘビー用ですが幅広いコンディションで使用可能です。そしてなにより、手前からの転がり感とピン飛びはピカイチな

ボールとなつております。早期発売が予想されますのでお早めに。



二つ目はストーム「コード30」です。コードシリーズ最新作ですが、スペックは初代のコードブラックに近い商品です。初代同様、ピン前での強烈なキレに注目ください。

〈ドリラーのひとりごと 第11話〉

〜スキンパッチ〜

今回はスキンパッチについてご紹介します。

これは指の皮膚などをコーティングしてくれるものです。水ばんそうこうと表現したほうがわかりやすいかもしれませんね。

これを皮膚に塗ると固まって皮膚を保護してくれます。直接液を皮膚に塗る人もいれば、ガーゼなどをあてた上から塗って使う方もいます。使用用途としては、ひとつは皮が剥けてしまった場合です。剥けたところにスキンパッチを塗ります。ただし・・・かなり沁みます。

もうひとつは皮が剥けないように事前に塗っておいて皮膚を保護するために使用します。皮が剥けやすい人や痛くなりやすい人などはゲーム前にケアしておくのと軽減することができます。また、長いゲームを投げる場合にも効果はあると思います。

注意点としては多少滑りやすくなるのと、コーティングのため固くなるので指の可動域が制限されます。材質や使用する場所によっては打球に影響する可能性もあるので注意してください。

また、開封して長時間放置すると固まってしまいます。開封したら早めに使いきることをお勧めします。いざ使おうとしたら固まって使えなかつたなんてこともありますのでチェックしてくださいね。

〈筆者〉



佐取賢プロ(44期)
JPBA/PBAプロレギュラー
JPBA B級インストラクター
JBC公認ドリラー